夜間に強い揺れ 各地に被害

2月13日発生 福島県沖地震

①

2月13日㈯23時7分、福島県沖を震源とする最大震度6強の地震が発生しました。鏡石町は震度5強を観測し、町内各地で道路に大きな亀裂が生じて一部で通行止めとなったほか、一般住宅では家具の倒壊や壁が崩落するなど多数の被害が確認されています。

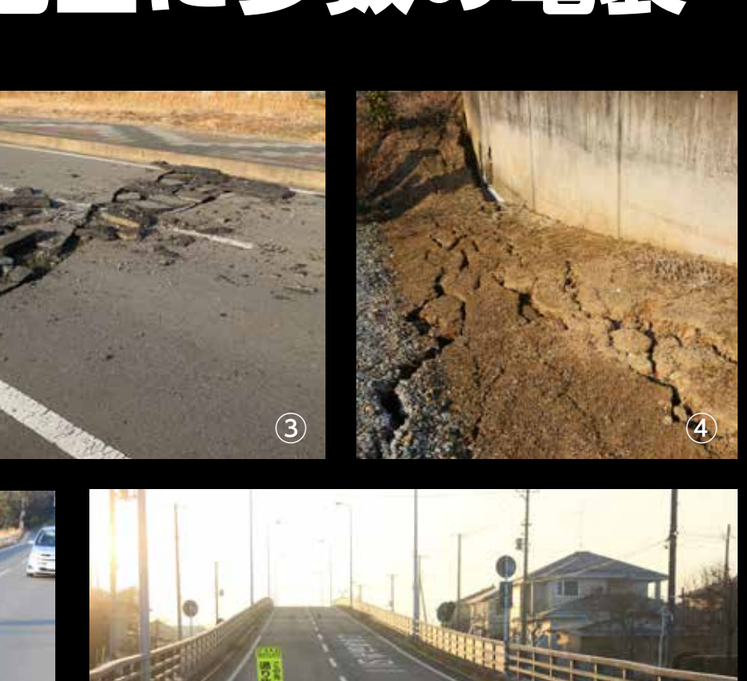
今回の地震は10年前に発生した東日本大震災の余震とみられており、強い揺れで地盤が緩んでいる箇所もありますので、今後も余震への警戒が必要です。

今回の地震により、町内では地震後から一部地域で停電が発生したほか、水道使用量の急激な増加、水道管の漏水等によって浄水場の貯水量が大きく減少し、翌14日には計画断水が実施され、鏡石一小敷地内で給水作業が行われるなど、日常生活に大きな支障を来す事態となりました。

町では地震発生直後に災害対策本部を設置し、鏡石一小のあやめホールや各地区の集会所を避難所として開設しました。また、町職員や町消防団員を招集して町内の被災状況を確認し、道路の応急修繕や災害ごみ集積所の運営、家屋のり災証明書判定のための現地調査など、対応に当たりました。

地震による住宅等の被害の詳細は現在調査中のため、今月号では、町内で特に被害の大きかった道路や公共施設の損壊状況などについてお知らせします。

道路や地面に多数の亀裂


②

①道路に長い亀裂が生じた久来石地区の旧国道

②岡ノ内地区の一部では道路に多数の亀裂が入り、現在も一部通行止めに

③笠石熊野神社ー笠石高架橋間の道路では、道路を横断するようにアスファルトが割れる被害

④地面に多数のひびが確認された岡ノ内池付近

⑤五斗蒔池の付近でも道路が損壊

⑥地震の揺れによって橋の継ぎ目に隙間が生じ、数日間通行止めとなった笠石高架橋

③

④

⑤

⑥